

くわばら地区 まちづくり通信 VOL.3

2008年7月1日発行

桑原地区まちづくり協議会設立準備会発行

桑原地区まちづくり協議会設立準備会とは...

より住みやすい「くわばら」を作るため、桑原地区(東野、正円寺、樽味、桑原、畑寺、三町、松末、東本)の様々な組織・団体が結団して「まちづくり」について話し合いを進めている組織です。

～ご意見・ご感想も随時募集中～

ブログ開設

<http://ameblo.jp/kumabara/>

会議の様子やイベント情報も掲載!!
ぜひアクセスを!!



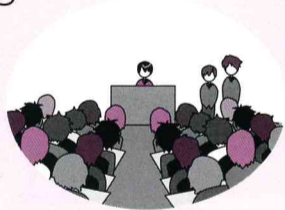
● 最近の準備会の動き ●

- 4月 1日 くわばら地区まちづくり通信VOL.2発行
- 4月 6日 淡路ヶ峠への桜苗木植樹へ協賛
- 4月 10日 愛媛大学(農学部)へ協力要請
- 5月 11日 桑原史跡めぐり(広報部主催)
- 5月 20日 設立準備会開催(第13回)
- 5月 28日 学校支援地域本部事業計画を市へ提出
- 6月 10日 松山東雲女子大学へ協力要請
- 6月 24日 設立準備会開催(第14回)



● 今後の予定 ●

- 7月 1日 くわばら地区まちづくり通信VOL.3発行
- 7月 16日 設立準備会開催(第15回)
- 7月 26日 桑原サマーカーニバルへ協賛(IN桑原小)
- 10月 1日 くわばら地区まちづくり通信VOL.4発行予定
- 11月 9日 桑原地区文化祭へ協賛(IN桑原小)
- 1月 1日 くわばら地区まちづくり通信VOL.5発行予定
- 1月 下旬 桑原地区まちづくり協議会設立予定
…また、準備会、組織・規約策定委員会も月1回程度開催します。



● 今年度予算の内訳 ●

(収入)	合計	376,000円
市補助金(見込み)		346,000円
自主財源		30,000円(会員会費)
(支出)	合計	376,000円
会議費		20,000円
広報・啓発費		260,000円(啓発広報紙発行等)
報償費		20,000円(講師謝礼等)
通信費		50,000円(郵送費等)
事務費		26,000円(用紙・コピー等)

組織・規約策定委員会

…規約って??

まちづくり協議会がどういう組織で、どんな活動をするかなどの決め事を書いた、くわばら地区のオンリーワン規約です。少し専門的な知識もいるので、委員の意見を取り入れながら、プロジェクトメンバー(組織・規約策定委員会)で素案を作成しています。案ができれば、住民の皆さんにもご意見をいただく予定です。

第1章 総則

(名称及び事務所)

第1条 本会は、桑原地区まちづくり協議会(以下「協議会」という。)と称し、事務所を会長宅に置く。

(区域)

第2条 協議会の区域は…



● 愛大農学部との協働参画について ●

4月10日(木)、設立準備会と愛媛大学農学部との協働に向けた話し合いが樽味キャンパスで行われ、設立準備会からは河内会長、事務局、市職員が、農学部からは泉学部長のほか、教授、生協理事、学生が参加しました。まちづくり協議会の設立をきっかけに、今後は大学施設の活用、オープンキャンパスの地域開放、寮生の地域活動参加などを行ってはどうか、など前向きな意見交換が行われました。

現在、設立準備会には、農学部から教授の大隈先生、藤原先生、学生の安松さん、田口さんが委員として参加しています。



オープンキャンパス with 農祭



出店対抗のゲーム大会

6月21日(土)、愛媛大学農学部オープンキャンパスwith農祭を実施しました。

農学部樽味キャンパスには227名の高校生とたくさんの桑原地区の住民の方々にご来学いただき、盛況のうちに無事終わることが出来ました。愛媛大学農学部では今後とも地域に開けた大学づくりを目指していくことにしています。

農学部教授 藤原 正幸

今回見逃した方!!
次回は8月7日、8日にもあります!!

まちづくりは行政主導ではなく、行政と住民(まちづくり協議会)が補完し合って進めることとなります。また、まちづくりが進むかどうかは住民や協議会のメンバーのやる気にかかっています。みなさん、知恵を出し合って素晴らしい「くわばら」を作っていきましょう。

副会長
土井明文(東野)



役員紹介

安全・安心のまち「くわばら」をめざして、各組織、団体のご意見を持ちより、行政の指導もいただきながらまちづくりに頑張っております。

皆様方のご指導とご協力をよろしくお願いします。

副会長
澤田和夫(正円寺)



どうにか淡路ヶ峠に登ったくまばらさん



くまばらさんはそこから見える美しい景色に感動しました



そして下山したくまばらさんはこの感動を書き表し、「淡路ヶ峠から見える景色は本当にスゴイヨ!展望台もあるんよ!」とウザワに伝えたのでした。

つづく

くまばらさん

学校支援地域本部の設置

桑原地区ではこのたび、国の補助を受けて「学校支援地域本部」を立ち上げ、地域が一体となって、小中学校の活動を支援することになりました。

学校支援地域本部では、地域コーディネーターを小中学校に配置し、支援活動の企画・立案・啓発等について協議します。また、学校支援ボランティアを募集し、学習支援活動、部活動指導、校内の花壇づくり、グラウンド整備、登下校の安全見守り活動などに取り組みます。

【桑原地区学校支援地域本部って??】

地域全体で学校支援を行う任意の団体です。

【地域コーディネーターって??】

各校に3名程度を配置し、支援活動の企画・立案・啓発等について協議します。

【学校支援ボランティアって??】

学校の要請に応じて下記の支援活動を行います。
学習支援活動・学校行事補助・部活動補助・図書整理・花壇整理・校内環境整備・登下校指導・安全指導・読み聞かせ・遊びなど



くわのみ学級

6月23日に開催された「桑原小学校くわのみ学級【鈴木康二校長先生の講演会】」に、まちづくり協議会から13名が参加されました。初めて地域住民をお迎えし、健全育成子育て・沖縄についての演題で、映像や歌声のある楽しい講演会となりました。地域の方に校長先生の優しいお人柄を知っていただき、小学校に親しみを感じてもらえる良い機会となりました。桑原小学校PTA会長 松本 真美



●●● 職場体験学習の受入募集 ●●●

桑原中学校では、毎年、進路学習の一環として、2年生対象に職場体験学習を実施しています。今年度は、できるだけ多くの子どもたちに地域の皆様の職場で体験をさせてやりたいと考えています。

つきましては、地域の皆様のご協力をお願いいたします。なお、子どもたちの受け入れをご検討いただける方は、学校までご連絡ください。

桑原中学校校長 堺 雅子



体験期間 11月12日(水)、13日(木)

連絡先 桑原中学校 TEL 943-5152

※ 7月25日(金)までにご連絡をいただければ助かります。

シリーズ 隣の芝生②

～内子町石畳地区を訪ねて～

松山市が主催する地域リーダー養成セミナーの中で、先進地視察として、今回は内子町の山あいにある石畳地区(人口約380人)へいざ出発!



石畳のまちづくりについて学習

この地区がどんな工夫を? 興味津々で話を聞きました。過疎化・高齢化が進む中で、「石畳を誇りに思える地域をつくりたい」と、農家の若者や町職員の有志12名がグリラ的に『石畳を思う会』を結成したそうです。「地域は舞台、演じるのは私たち」の話には感動しました。

同会の ① 会則を持たない。② 補助に頼らず自立する。③ 多数決制をとらず、提案者がリーダーとなって活動をする。(この指とまれ方式)というユニークで斬新な理念を基調としていると聞いてびっくり!思わず拍手。

石畳の農村風景のシンボル「水車小屋」の復元をはじめ、しだれ桜の里づくり、花いっぱい運動、「水車まつり」等住民総ぐるみで展開中です。なんて、素晴らしい。

『くわばら』でも住民が参加したくなる素敵な案を考案し、住民の皆さんと一緒に頑張りたいと思いました。



住民の力で復元した水車小屋

広報部部長 今井 典子

桑原地区の史跡めぐり②

～東野(下分)～



①

① 山神社

明治43年(1910)桑原八幡神社に合祀されていたが、昭和9年(1934)現在地東野三丁目432番地に祀られることになった。大山昨神(おおやまくいのかみ)を祀る山王大権現は、「山神社」と改められた。昭和10年(1935)社号標(烏谷章将軍の書)と鳥居も青年団の手によって建立された。☆奈良原神社と若宮神社が境内に祀られている。



②

② 薬師堂

山神社の東麓の蓮池のそばにあり、瓦造りのお薬師を祀り、台座に文化9年(1812)東本延年が制作したと記されている。薬師堂は昭和47年(1972)山神社の麓から現在地に移された。



③

③ 村丸寿平翁頌徳碑

明治20年代の中頃、村丸寿平翁が梨の栽培の先駆者として活躍、明治30年ころから紀州・尾張方面から温州みかんの導入拡大を図り、さらに農家の副業として養鶏・養豚・養蜂の必要性を説き、率先実行し範を示した。村長として松山市との合併を推進するなど、多大の功績により、昭和15年(紀元2600年行事として)建立された。平成13年現在地に移す。



④

④ 観音堂

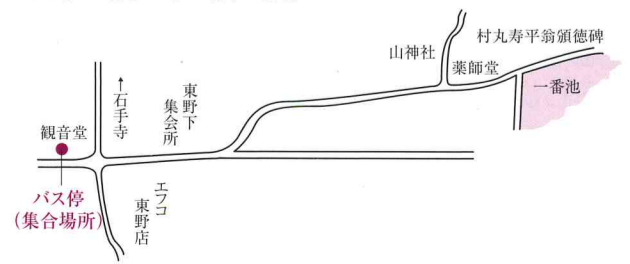
東野三丁目にある山神社が、松山城主となった松平定行公が寛永12年(1635)、桑名から松山に国替え後、建てられたものであり、東本伊兵衛の墓(慶長13年(1608)の記入)などから350年以前に建てられたと考えられる。釈迦座像が祀られている。



⑤

⑤ 一番池

安永6年(1777)建設。桑原地区最大の灌漑用の池。面積2町3段8畝。



編集後記

いかがでしたか?
次回もお楽しみに!

夏バテ
ふきはぼう!!



広報部
松本優理子

史跡めぐりのご案内

東野(下分)

7月21日(月・祝)9:00~
2時間程度。

東野バス停(東野エフコ西)
前へご集合ください。

参加自由。小雨決行。暑いので帽子、水筒も忘れずに。